特集 水害、土砂災害から身を守る

近年、台風やゲリラ豪雨などによる風水害や土砂災害が全国各地で頻繁に起こっています。今月は「水害、土砂災害から身を守る」ために必要な情報などについて特集します。

平成30年7月豪雨では、西日本を中心に広範囲で大雨特別警報が発表され、大雨により土砂災害や家屋への浸水など甚大な被害がもたらされました。

全国的にも大雨による被害が発生し、「これまでに経験がない大雨だった」と被災された皆さんが語っています。

松島町でも自然災害がいつ起こるか誰にもわかりません。「強い雨」や「激しい雨」以上の雨が予想されるときは、気象庁が大雨注意報や大雨警報を発表して注意や警戒を呼びかけます。「猛烈な雨」を観測した場合、記録的短時間大雨情報が発表されることがあります。

突然の災害に備えるため、日頃からこれらの情報を理解し、災害時の避難行動を確認しておきましょう。

雨が降り始めたら松島町の雨量がどの程度か、河川の水位はどれくらいかなど、テレビのデータ放送や気象庁・国土交通省のホームページを活用して気象情報や災害情報を集めましょう。

また、町からの避難情報などにも注意しましょう。

自治体から発令する避難情報

避難勧告や避難指示（緊急）を発令することが予想される場合

避難準備・高齢者等避難開始

□避難に時間を要する人（ご高齢の方、障がいのある方、乳幼児など）とその支援者は避難を開始しましょう。

▼

災害による被害が予想され、人的被害が発生する可能性が高まった場合

避難勧告

□速やかに避難場所へ避難をしましょう。

□外出することでかえって命に危険がおよぶような状況では、近くの安全な場所への避難や、自宅内のより安全な場所に避難をしましょう。

▼

災害が発生するなど状況がさらに悪化し、人的被害の危険性が非常に高まった場合

避難指示（緊急）

□まだ避難していない人は、緊急に避難場所へ避難をしましょう。

□外出することでかえって命に危険がおよぶような状況では、近くの安全な場所への避難や、自宅内のより安全な場所に避難をしましょう。

雨の強さと降り方

雨が降り始めたら情報の確認を

水害・土砂災害に関する情報には、自治体による避難情報や気象庁による警報があります。

町では、洪水や土砂災害などの危険が迫っているとき、状況に応じて3段階の避難に関する情報を発令します。皆さんが置かれた状況により早めに避難行動を起こしましょう。

また、災害発生時やその予兆があるときは速やかに身を守るように行動しましょう。

気象庁では、警報の発表基準をはるかに超える大雨などが予想され、重大な災害が発生するおそれが著しく高まっている場合、特別警報を発令し、最大級の警戒を呼びかけます。

警報とは、重大な災害が発生するおそれのあるときに警戒を呼びかける予報です。

注意報とは、災害が発生するおそれのあるときに注意を呼びかける予報です。

安全・安心メールの登録を

防災行政無線の内容を知らせます

安心・安全メールは台風の状況や避難情報、クマの出没情報などを発信しています。ぜひ登録をお願いします。

※安心・安全メールは登録制のメールサービスです。緊急速報メールではありません。

【登録方法】

①登録は、携帯電話やスマートフォンなどで下記のQRコードを読み取るか登録用メールアドレス『05888@nopama-i.jp』へ空メールを送信してください

②返信メールからURLにアクセスし、利用規約を確認後「次へ」ボタンを押す

③登録用の「パスワード」と「登録名」を入力し、「確認」ボタンを押す

④内容を確認し、「登録」ボタンを押す（『登録完了のご案内』のメール受信）※登録完了

注意事項

迷惑メール対策をしている場合は、登録前に『@nopama-i.jp』からのメール受信設定をお願いします

● 問合先　総務課環境防災班　☎3541-5782（直通）

雨や風が強くなる前に、家屋の補強などの対策を

雨が降ったり、風が強くなったりする前に、窓や雨戸はしっかりと閉め、必要に応じて補強する。側溝や排水溝は掃除して水はけをよくしておく。風で飛ばされそうなものは飛ばないように固定したり、家の中に格納したりするなど、家の外の備えをしておきましょう。雨や風が強くなってからでは、外での作業は危険です。

非常持ち出し袋の準備を

危険が差し迫ったときには、安全な場所に避難し避難生活を送ることになります。

非常時に持ち出すべきものをあらかじめリュックサックに詰めておき、いつでもすぐに持ち出せるようにしておきましょう。

避難情報の発令があったときは迷わず避難

避難情報の発令があったときは、迷わずに避難をしてください。川の氾濫や土砂災害などの災害は一気に起こるため、避難が遅れると、命にかかわります。天候が荒れてからでは、移動も困難になりますので早い段階から避難するようにしましょう。

なお、既に災害が発生していたり、暴風や大雨などにより避難場所までの移動が非常に危険な状況では、近隣の堅牢な建物などへ緊急的に移動したり、自宅の2階以上のがけや沢からできるだけ離れた部屋などに移動したり、少しでも命の助かる可能性が高い安全確保行動をとるようにしてください。

「土砂災害」に注意を

「土砂災害警戒情報」などが発表されていなくても、斜面が以下のような状況（土砂災害の前兆現象）になっていた場合は、直ちに周りの人と安全な場所に避難してください。

《土砂災害の主な前兆現象》

○がけや地面にひび割れができる
○小石がバラバラと落ちてくる
○がけや斜面から水が湧き出る
○湧き水が止まる・濁る
○井戸や川の水が濁る
○地鳴り・山鳴りがする
○樹木が傾く
○降雨が続くのに川の水位が下がる
○立木が裂ける音や石がぶつかり合う音が聞こえる

非常持ち出し品の一例

食料品	飲料水、乾パンやクラッカー、レトルト食品、缶詰、粉ミルク、ほ乳びんなど
医薬品	救急医薬品、常備薬、マスク、紙おむつ、生理用品など
貴重品	現金（小銭も）、預金通帳、印鑑、健康保険証、身分証明書など
衣　類	下着、タオル、寝袋、雨具、軍手、靴など
日用品	ナイフ、缶切り、鍋、水筒、懐中電灯、ラジオ、電池、ロープ、マッチやライター、使い捨てのカイロ、ティッシュ、筆記用具、ごみ袋など
その他	防災ずきんやヘルメット、予備の眼鏡、地図など

子どもとともに学ぶ防災教室を開催

6月30日、本郷ふれあいセンターにおいて、本郷地区婦人防火クラブ（桔梗元子会長）による防災教室が開催され、子ども達を含めた地域住民約100人が参加しました。

防災教室では、松島消防署の消防隊員による応急手当や担架の搬送方法を学んだほか、ポンプ車からの放水体験などを通して、災害や火災時の対応を子どもと大人が一緒に学びました。

▲ポンプ車からの放水を体験する参加者